

第1分科会 加茂地区 可児郡「教育課程に関する課題」

質問

連携のための会議が設定されていましたが、その調整や時間の生み出し方、メンバーはどのようにされていますか。(飛騨地区 中学校)

中核となる教員が連携するときに、どんな内容を交流し、連携をしましたか?(東濃地区 小学校)

地域学校協働本部連絡会は、年3回の実施で十分機能していましたか。(可茂地区 小学校)

地域学校協働本部連絡会の中での取り組み内容、特に教頭の役割や、地域の方との役割分担についてや活動の充実のための工夫、さらに働き方改革との両立と関わって留意している点を知りたいです。(飛騨地区 中学校)

地域学校協働本部がどのように運営されているのか?だれが中心となって会を運営しているのか(可茂地区 小学校)

地域学校協働活動のコーディネーターは誰ですか?行政の方がきちんと入っていますか?(可茂地区 中学校)

成果と課題にもありましたように、地域との協働の一方、働き方改革の推進に難しさを感じる場所があります。地域と協働する際、教職員の負担も軽減されている事例があれば教えてください。回収ボックスの取り組みは、収益金や業務内容を含め、参考にしたい事例であると感じました。(可茂地区 小学校)

進めていく中での課題や悩みを本音で教えていただきたいです。(飛騨地区 小学校)

上之郷地区の地域との茶園活動は、PTA や学校連携協議会をどのように巻き込んで活動しているのかを知りたいです。(飛騨地区 中学校)

小中連携の取組に対して、児童生徒や保護者は、どのようによさを感じているのかを知りたいです。(東濃地区 中学校)

小中学校の教員が一緒に取り組む時間の確保は、どのような工夫をして実現しているのでしょうか。(可茂地区 中学校)

小学校の先生が中学校の研究会に参加したとありますが、その時、児童は下校した状況で研究会が実施されたのか、学校で自習状態で参加されたのか。どのような状況下で研修が実施されているのかを知りたいです。(岐阜地区 中学校)

御高町には「地域学校協働本部」が設置されているということで、私の勤務校の地域にもそのような連携組織があるといいなあと感じています。この組織は、どのように立ち上げられ、設置されたのでしょうか。(美濃地区 小学校)

見守り隊などの学校ボランティアの高齢化がすすみ、新しい人材の確保が難しいが、地域学校協働本部は、人材確保に有効か。(岐阜地区 小学校)

教頭先生が地域や家庭と連携を図ったり、活動をコーディネートされていますが、働き方改革の視点から考えたとき、教頭先生自身の勤務時間や業務過多にはなっていないでしょうか?(岐阜地区 中学校)

教頭会でのデータ共有、情報共有について、もう少し詳しく知りたいです。(岐阜地区 小学校)

教頭の負担が多くないか(飛騨地区 小学校)

PTA の役員選出が難しく、地域も少子化となっていきます。資源回収は今後も行なって行けそうですか?(東濃地区 中学校)

「地域学校協働本部」と「各校の PTA 組織」との関係性や連携は、どうなっているのでしょうか?各校の PTA 本部役員は、「地域学校協働本部連絡会」に所属はしないのでしょうか?(東濃地区 中学校)

意見・感想

歴史・伝統のある地域の中での地域に誇りを持てる児童生徒の育成に向けて小中で連携して日々の教育活動を行われていることがとてもすばらしいと感じました。(可茂地区 小学校)

本町と規模的に近いため、小中の連携について地域と協働して取り組む様子は参考になりました。中学校と小学校が連携して、基本的な生活習慣づくりは、同じように目指すところです。しかし、継続して取り組むことが本校での課題でもあります。ぜひ、見直して、取り組んでみようと話題にしました。(岐阜地区 中学校)

本町でも小規模校の学校にあたるため、より小中との連携を図ることが大切だと感じました。時間を生み出すことが課題とはなりますが、校種が異なる互いの授業を見合うことにより、こういった内容をどのように進めているのかも確認することもでき、それぞれの校種での授業作りにも活かせる有効な手立てだと感じました。地域との連携も今後さらに重要なことだと思います。今後の課題とも捉え、連携の強化を図りたいと思います。(可茂地区 小学校)

本実践にもあるように、一小一中の関係の地域は私たちの恵那市にも多い。そういった地域のよさは、地域との結びつきが強いこと。逆に、課題としてとらえられることが教員も子どもも多様な考えの中からよりよいものを生み出すなどの点があげられる。本市ともよく似ている実態から、地域との結びつきの利点をより生かし、子どもをよりよく育てようとしている点が大変参考になりました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

本校も来年度から学校運営協議会が発足するが、これからの学校にとって地域との協働は不可欠だと思います。その調整役として、教頭の役割は重要だと思いました。(東濃地区 中学校)

本校も似た環境であるため、興味をもって視聴させていただきました。小中学校職員で行う研修の在り方、小中学校の子供たちが共に学びながら地域貢献をおこなう取組が自校区の連携につなげられるようなヒントをいただきました。(東濃地区 中学校)

本校も1小1中なので、小中連携を行い、同じように児童生徒の交流や取組を行っています。教員同士の交流もでき、中学校へのスムーズな移行もできてとてもよいと感じています。今後は、地域との連携も図っていきたいと思っています。(西濃地区 中学校)

本校は小中一貫校であり、小中で連携した取組や地域の中で学び地域の一員としての自覚を高める活動等、大変参考になりました。(岐阜地区 小学校)

本校は、1町1校のため、教頭会がありません。郡の教頭会がない限り、他校の実践や状況が分かりません。可児郡教頭会の実践から、連携や協働体制の強固さを観じました。特に、小学生と中学生と一緒に活動する場や、小中の教員と一緒に研修する場に魅力を観じました。この手法が、小中連携や教育効果向上のために一番効果があると思います。地域の環境を十分に生かした素晴らしい取組だと思いました。(可茂地区 小学校)

特に、学校運営協議会やPTAと連携し、地域貢献活動を進めた実践に興味をもちました。子どもたちにとってはもちろん、地域にとっても充実した活動になったのだと感じました。(飛騨地区 中学校)

町内すべての学校で連携を取りながら進めていることがすてきです。学力向上推進会、教頭会、地域学校協働本部連絡会など、多方面から児童生徒の教育を考える会を開き、それを教頭先生方が中心となってマネジメントしていることが、地域全体の力となっていることがよくわかりました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

町という単位で地域学校協働本部を設置し、複数の学校が協力して実践を進めてみえるところに興味を持ちました。(岐阜地区 小学校)

中学生が小学校へ行ってあいさつ運動に参加する活動は小中学校が隣接している利点をとても有効に生かした活動だと感じた。課題であるICT活用能力についての9年間の指導計画作成や児童生徒協働活動の推進についても、教頭同士の連携が重要だと感じた。(東濃地区 小学校)

中学校区の特徴を生かした小中学校の連携や地域との連携がなされていることがよくわかりました。特に地域学校共同本部による地域連携は、機能していて素晴らしいと思います。(可茂地区 小学校)

茶園活動という地域の財産を活かした取組を通じて、地域連携や貢献の大切さを学ぶ「ふるさと教育」を行っていることが、とても参考になった。(岐阜地区 小学校)

茶園の地域財産を活用していることが、住民の理解や協力につながったり、生徒の郷土愛につながったりする点で興味深かったです。

学校主体か地域主体となるかが、働き方改革とも関連して持続可能な活動になるかどうかの分かれ目になるのではないかと感じました。

メディアコントロールデーについては、本校でも同様の活動を行っておりますが、コミュニティ・スクールと協働してはいるもの、各家庭との連携はまだまだ薄いです。家庭教育学級との連携は参考になりました。(岐阜地区 中学校)

地域連携協働本部の存在に興味がありました。(可茂地区 中学校)

地域連携とICTについては本校でも喫緊の課題ととらえているので、発表が大変参考になりました。(可茂地区 中学校)

地域独自の活動を仕組むことの大切さを改めて感じました。(岐阜地区 小学校)

地域人材の活かし方、地域としての小中学校の連携が整理され、今後のコミュニティ・スクールの在り方を示し、地域を生かした学校経営とともに、地域の中の学校としての役割について考えることができました。ありがとうございました。(西濃地区 中学校)

地域人材については、本校は3年後に大規模な合併を控えており、新たな人材とそのより有効な活用を早めに勧めていく必要を感じました。(東濃地区 中学校)

地域資源の茶園を、小中の教育活動のフィールドとして活用して見える点を羨ましく思いました。リアルな体験の場が少ない地域では、校内完結型が多いのではないかと推察します。(岐阜地区 小学校)

地域貢献活動を円滑に進めるに、可児郡の組織があり、教頭としての役割を明確にして取り組んでみえることが地域との関わりを円滑に進めるために大きな働きとなっていることを学びました。(可茂地区 小学校)

地域貢献活動は、地域に合った充実した活動で意義あると感じました。資源回収等で、70万近くあるのはありがたいです。(岐阜地区 中学校)

地域貢献活動の充実は、素晴らしい。茶園活動もユニーク。(岐阜地区 小学校)

地域貢献活動の充実するための教頭の役割の大切さを改めて感じました。新たに作るのではなく、行事を精選し、コーディネートしていくことが大切だと感じました。働き方改革は大切ですが、学校として、地域としてどんな子どもを育てていくのかということを明確に持っていかなければならないと思いました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

地域貢献活動の見直しをコロナ禍でありながらも教頭として進めていく大切を勉強させて頂きました。(西濃地区 小学校)

地域貢献活動に興味をもちました。地域の中で子どもたちを育てていくには、赴任先の地域の良さをまずよく知ることが教頭には必要であり、地域有識者と顔見知りになっておくことで、より早く地域貢献活動がすすんでいくのだろうと、感じました。お茶の活動は本当に素晴らしいです。

また、資源回収が十分に出来なかったこの3年。設置型で70万近い収入があるのはすごいことだと感じました。熱心に地域の方にご案内していらっしゃる努力の賜物だと感じました。(東濃地区 小学校)

地域学校協力本部連絡会を創設し、地区センターの方と共に子どもたちの支援を考えていくことはこれからのコミュニティ・スクールにもつながるものがあると思い、参考になりました。地区センターのもつ力を学校とつなげていく取組がすごいなと感じました。(可茂地区 小学校)

地域学校協働本部連絡会の存在など、うらやましい点がたくさんありました。(可茂地区 小学校)

地域学校協働本部連絡会が中心となって、地域貢献活動が推進されているので、課題があるものの、小中が協力し合って活動をしているところがすごいことだと思いました。また、小中9年間の系統的な指導を考えていることは今後見習っていかなければならないことだと考えます。(岐阜地区 中学校)

地域学校協働本部を立ち上げ、公民館長と協力しながら、地域貢献をすることで、生きる力の基盤を育成しているところに感心しました。(岐阜地区 小学校)

地域学校協働本部を設置し、小中の連携を教員だけでなく、児童生徒・地域においても取り組まれているところに良さを感じました。コロナ禍であることから様々な会議、研修会が中止や紙面開催、WEB開催となりましたが、小中の連携を柱にした取り組みは是非参考にしたいと思いました。(可茂地区 小学校)

地域学校協働本部の組織を活用し、地域ぐるみでの充実を図っていることがよくわかりました。海津市では、まだコミュニティ・スクールを立ち上げていませんが、今後の活用に魅力を感じました。また、資源回収等小中合同で行うなど、連携を大切にされた地域貢献活動が成立しており、地域と協働して取り組む活動が充実していると感じました。個々の小中学校で行っているよい活動、利点のある活動を地域を巻き込んで市内の学校全体で一緒に取り組めるよう、考えていく視点をもちたいと思いました。(西濃地区 小学校)

地域学校協働本部の在り方は、非常に参考になりました。(岐阜地区 小学校)

地域学校協働本部の機能しやすい自治体の規模であると感じました。中学校区での職員連携を強化し、学び方を中心とした共通の教育課程を構築していくことを今後も努力したいと思います。(岐阜地区 小学校)

地域学校協働運営について、教頭自らが関わり、積極的に活用していく姿がとても勉強になった。(可茂地区 小学校)

地域の方々にお世話になるだけでなく、貢献活動を充実させた実践が大変参考になりました。また、課題に挙げていらした地域人材の高齢化も共感できます。働く世代の人材、老後を地域貢献に生かしている人材、保護者つながりの人材など、新たな人材の開拓と楽しんで充実感を以って学校に貢献いただける方面の開拓を大切にしていきたいと感じました。お忙しい中、写真や資料をそろえてわかりやすいご提案をいただきありがとうございました。(西濃地区 小学校)

地域の特性を生かし、小中間の連携が密であり、取組内容が児童生徒・教職員にとってとても魅力的である。(美濃地区 中学校)

地域の特性、特産を生かした地域学校協働本部との連携がとても太いものであると感じました。学校運営協議会の立ち上げ期として教頭が推進する場面も多いと思います。地域組織の力強さや地域の方の熱意も感じましたので、今後は軸足が地域に移っていくと働き方改革にもつながると思いました。地域力に頼りお願いするという学校の立場から、地域の方も学校運営に参画するという考え方を浸透させていく道筋をつくっていくという自校の課題を実感させていただきました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

地域の特色を生かして、小中校区で連携しながら地域貢献活動の活発化につなげていく活動を教頭と、公民館長さん方が連携して取り組んでいることが素晴らしいと思いました。子供も大人も地域に対して誇りを持ち、地域やその未来での生きる力の育成へつながると感じました。(岐阜地区 小学校)

地域の窓口となる教頭の責務の大きさ(岐阜地区 中学校)

地域の小中学校が同じ歩調で取り組んでいくことで、どの学校の子どもや保護者が一体感を持って取り組めることは素晴らしいと思いました。どの学校でも共有していく意識や活動を教頭会が中心となって連携していくところに、教頭会の意義の一つを感じました。地域すべてとはならないかもしれないが、せめて同一中学校区では、共有できる部分を作っていくことが大切だと感じました。(飛騨地区 小学校)

地域の実態やニーズに応じて創意工夫されている(西濃地区 小学校)

地域に根ざした地道な実践を紹介されて、大変刺激を受けました。(岐阜地区 中学校)

地域に貢献しながら小中学生が共に学ぶ活動が伝統となり、文化となっていることに感動しました。(岐阜地区 小学校)

地域における小学校と中学校の有機的な連携のあり方について学ぶことが多かった。(西濃地区 小学校)

地域にある財産を子どもの活動の中に効果的に取り入れることで、より効果的に教育課程を展開することができる。そのコーディネートをするのが教頭となると考える。(岐阜地区 小学校)

地域と連携において「相互に happy/happy」になるようにという考え方がとてもしっくりときました。お互い負担にならないよう生徒も地域もそんな関係になるとよいなあと思います。(可茂地区 中学校)

地域と小中学校の連携の様子が参考になった。(飛騨地区 小学校)

地域と共同しながら学校を運営していくスタイル、コミュニティ・スクール化に向けての動きを活発にしていこうと必要があると、実感しました。(東濃地区 中学校)

地域と共に教育を展開する活動が素晴らしいです。(可茂地区 中学校)

地域との連携活動を行うことは難しいことであるが、お茶を通して地域連携担当職員が中心となって活動しているのが素晴らしいと思いました。(岐阜地区 中学校)

地域との連携を大切にされ、また地域の特色を生かすことで、子どもたちの主体性を育む教育活動となっていると感じました。素敵なお実践ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

地域との連携をさらに深めたいと感じた。(西濃地区 小学校)

地域との連携や共生を考えた時に、その地域ならではのものを大切に、地域の方と一緒に教員や児童生徒が活動していくことが大切であると学びました。(飛騨地区 中学校)

地域との連携はもとよりまずは小中学校同士で様々な連携活動が結果として地域との連携や地域貢献につながっていると感じました。(西濃地区 中学校)

地域との連携はどれも必須課題であり、地域の活性と生徒の自己有用感の育成がうまくかみ合うことが大切だと感じた。ともにウインウインの関係づくりを考えていきたい。(飛騨地区 中学校)

地域との連携の大切さを感じた。地域の中にある学校ということをもっと意識していかなければと感じた。(可茂地区 小学校)

地域との連携の大切さ、小中学校が共通の場をもって交流や研究を実施することの重要性を学びました。(岐阜地区 小学校)

地域との連携については、しっかりとした組織の存在があることがまずは大切であることを感じました。また、伝統的に行われてきた茶園活動は、地域貢献活動として定着しており、さらに充実した活動になっていることを思います。だれか何をするか明確で、引き継ぐべき活動を少しずつ時代に合わせて改善していることで、職員の異動があっても、次の人たちが継続して活動できていることを学ばせていただきました。(飛騨地区 小学校)

地域との連携、ICTの活用、小中一貫教育を意識した小中の交流の在り方に関する発表を特に興味深く聞かせていただきました。

教頭として、外部とのつながりをつくったり、令和の日本型学校教育の構築のために学校教育の改善をリードしたりとしなければいけないことが山積しているが、同じ校区の小中の教頭と連携、協力し、9年間を見通してしなければいけないことをまず話したいと思います。(可茂地区 小学校)

地域とのよりよい連携について探りながら、生きる力を育もうとしている点(飛騨地区 中学校)

地域とのパイプ役の役割、特に公民館との繋がりは大切だと感じました。(岐阜地区 中学校)

地域とのつながりを大切に、地域の資源を生かした教育活動を実践している点が素晴らしいと感じました。学校内の学びだけではなかなか身につかない社会性を高めることにつながると考えます。地域の教育資源や人材は学校の財産であると感じました。(西濃地区 中学校)

地域とともにある学校として、どのような連携をしていくとよいか学ぶことができました。(岐阜地区 中学校)

地域で生きる子供を育成するための教育課程において、地域の力を生かすことはとても重要であると感じた。今後、教頭として地域学校協働活動本部と連携を密にして教育課程を編成していく必要がある。(東濃地区 小学校)

地域が人を育てるということを感じる実践でした。地域が一体となって生活だけではなく、学ぶ力も育てていく姿はこれからの学校がめざす姿だと思いました。(可茂地区 小学校)

地域が主体となって実施するために、コーディネーターが大切だと思いました。教頭は、はじめは大変だけど、流れができれば、結局のところ、働き方改革にもつながる気がします。(可茂地区 中学校)

地域が一丸となって教育活動を行っている点が素晴らしいと思いました。さらに、小中合同資源回収ボックスは参考になりました。(西濃地区 小学校)

地域、小中学校が連携した取り組みが継続して進められている点が素晴らしいです。これまでの歩みを基盤にして「不易と流行」を意識した活動がなされ、地域を大切に「生きる力」を育てられる様子が良く分かりました。資源回収ボックスや小中9年間を見通したICT活用の指導計画の作成についても、ぜひ自分の地域で取り入れていきたいものであると感じました。(西濃地区 小学校)

第一分科会での可児郡の発表では、小中が合同で授業研究を進める等大変参考になった。本校の校区も小規模校が中心であり、今後の人口減少、若手教師中心のエリアになることを考えると、授業力、指導力強化のために参考になる取組であった。(美濃地区 中学校)

大変勉強になりました。今後の自校の課題となる内容ですので共感できることがたくさんありました。ありがとうございました。(飛騨地区 小学校)

大変勉強になりました(東濃地区 小学校)

組織的に協働フル活用の着眼点や工夫が参考になりました。(可茂地区 小学校)

組織的な活動を仕込まれていて素晴らしいと思いました。(岐阜地区 中学校)

生徒の個人情報の取扱いや守秘義務等の配慮は必要であるが、生徒や地域の実態を踏まえて「地域で子どもを育てる」ことを具現する教育課程を編成する必要性を改めて実感しました。(可茂地区 中学校)

生きる力を実感させる、とても大切なことだと思います。これからも考えていきたいと思います。地域貢献活動、児童生徒協働活動、ヒントをいただきありがとうございました。(美濃地区 小学校)

生きる力を育てることは、子供が将来「なりたい自分」を見つけることにつながると考えられます。本校では、昨年からは職場体験を校区内の企業で実施し、地域と共に子どもを育てる教育に取り組んでいます。今回の提言はとても参考になりました。(飛騨地区 小学校)

生きる力の基盤をつくる教育課程の充実を図るためには、保護者、地域との連携はもちろん、学校間の連携もさらに大切にしていきたいと改めて感じた。(可茂地区 小学校)

生きる力こそすべての土台であることがひしひしと伝わりました。(東濃地区 中学校)

新たな組織を設けることなく、既存の組織で取り組むところに共感しました。(東濃地区 中学校)

小中連携を有益的に実践されているところがとても勉強になりました。(岐阜地区 中学校)

小中連携を充実させ、成果を上げられており、参考になった。合同での挨拶運動などは、本校でも取り入れたいと思った。(東濃地区 小学校)

小中連携を、全校研究会を見合ったり、挨拶運動に参加したりするなど、どの学校でもできるところから始めていることがいいなと感じました。教頭のリーダーシップと業務軽減をバランスよく行う実践であり、参考に

なりました。また、ICT や学力向上員会なども教頭が中心になっており、だれが音頭をとっていくかが大切だと感じました。(西濃地区 小学校)

小中連携による学力向上の取り組みは参考になった(東濃地区 小学校)

小中連携で児童生徒共同活動の推進の発想がすばらしかった。(可茂地区 小学校)

小中連携してメディアコントロールデーを実践するのは効果的でよいと思いました。(飛騨地区 中学校)

小中連携した取り組みについての教頭の動きが参考になりました。(飛騨地区 小学校)

小中連携し9年間を見通した指導体制づくりを行うにあたって、教頭としてどのような働きかけをしたら良いのかを学ぶことができました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

小中合同の「あいさつ運動」「メディアコントロールデー」が大変参考になった。また、小中合同資源回収ボックスはとても面白い取り組みだと感じた。(飛騨地区 中学校)

小中教員協働活動や児童生徒協働活動等、学び合うための工夫が参考になりました。(西濃地区 小学校)

小中教員協働活動の推進で、新たな組織を設けるのではなく、校内研究会を相互参観するなどの取り組みは、他地域でも実現可能で効果的であると感じた。(飛騨地区 小学校)

小中教員協働活動の推進が児童生徒の生きる力を確かに育むことにつながると感じました。その実現のためには、教頭のコーディネートが重要だと再認識しました。(岐阜地区 小学校)

小中協働活動を意図的に仕組み、共通課題に向かって取り組むことの有効性を感じました。(岐阜地区 小学校)

小中及び保護者、CS、地域が一体となって「どんな力を付けたいのか」熟議し共通理解する大切さがよく分かりました。(飛騨地区 中学校)

小中及び地域との連携(東濃地区 小学校)

小中間の子供たち、教職員、地域、保護者のそれぞれが共同で動くことができるために京都等がどのような意識と役割が必要かを学んだ。(美濃地区 小学校)

小中学校間や地域など、連携を深めていくことで子どもの学びを深めていったり、系統的な指導が明確になったりすることができるのでよい取組であると思いました。また、人と人のつながりも増えてくるので温かな土壌ができ、豊かな生き方をつくり上げていくことができている素晴らしいと感じました。情報モラルについては、本校でも心配している内容なので、段階的な指導や使用方法等も含めた家庭との連携の仕方を強化していきたいと思いました。(西濃地区 中学校)

小中学校の連携の必要性和難しさ(東濃地区 小学校)

小中学校で連携・協力しながら行われている取り組みが多くあった。自分の学校は、9年間の義務教育学校なので連携がしやすい利点を生かし、今後も活動を工夫していきたい。(岐阜地区 小学校)

小中学校でそれぞれの特色を生かした取り組みを行っていて、強みを活かせる学校づくりに感心しました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

小中学校が連携して子供たちに生きる力を育んで見えることがよくわかりました。今後の継続的な活動のあり方を考えていくと、協働活動の推進にはPTAの支援が欠かせないことがわかりました。一方、残すべき地域貢献活動は何か？を絞っていく必要があるのではないかと感じました。(岐阜地区 小学校)

小中学校が連携した取組をしているということが、大変素晴らしいと思いました。御嵩町として地域学校協働本部を立ち上げており、町が一つとなって進めていこうとされています。私の町では小学校区任せになっているため、活動がしづらいつ感じています。参考になりました。資源回収のやり方についても、回収ボックスを置くことで多くの収益金を得られたようですので、参考になりました。(西濃地区 小学校)

小中学校が同じベクトルで推進するICTを効果的に活用する授業研究は、9年間を見通すことができるので効果的であると思った。また、メディアコントロールデーを小中学校が同じ時期に設定することは、地域を巻き込んで推進することにつながるので効果的であると思った。(西濃地区 中学校)

小中の連携の大切さを改めて感じた。ICTを活用し、コロナ禍であっても連携を続けてみえた取組が素晴らしいと思いました。また、取組の内容を焦点化され、地域の問題点から活動を考えられ継続してみえることは大変勉強になりました。(美濃地区 小学校)

小中の連携の大切さと一つのテーマに即した実践が大切であることを学びました。(岐阜地区 小学校)

小中の連携については、総合的な学習については、学習のテーマや内容を同じ校区の小中が互いに理解し学習計画を立てることが大切であると感じました。似た内容の学習になったとしても、発達段階に応じたねらいで学習を進めることができるからです。9年間のスパンで計画していきたいと思いました。(美濃地区 中学校)

小中の連携と地域連携とのつながりと有効な方法がわかった。地域、小中及び地域によっては高校も連携した教育が子供の力をつける手立てとなることにあらためて気付かされた。(東濃地区 小学校)

小中の連携で9年間の学びの質が高まるということがよく分かりました。連携の為に夏休みに合同研修会を開催されたり、教頭便りを発行されたりと、ご尽力されたことが素晴らしいと思いました。貴重な実践を発表してくださいましてありがとうございました。(東濃地区 小学校)

小中の連携だけでなく、地域とも連携して地域貢献活動を実施しているところが素晴らしいと感じました。(東濃地区 小学校)

小中の連携した教育課程の工夫や、地域学校協働活動の推進に関して、地域の方々との連携強化など、みんなで子どもたちを育てようとする思いの共有が感じられてとても良かったし、今後の自校や校区の取り組みにおいて参考にしていきたい。(可茂地区 小学校)

小中の交流を通して学びあう体制は、若手教員の育成に有効であるし、教頭が学力向上推進委員会の主になっていることが、業務面では大変な面もあると思うが、大切なことだと感じた。また、メディアコントロールなどの家庭への働きかけも大切であると感じた。(東濃地区 小学校)

小中の交流が活発であることが分かった。課題にもあったが、活動のスリム化も必要になると思った。(西濃地区 小学校)

小中の教員が共に活動していることがすばらしい。資源回収など、協力体制が整っている。(岐阜地区 小学校)

小中の教員が9年間を通して育てたい子供の姿を共有できることに、大変興味をもちました。小学校職員と中学校職員が、地域の人財と共に地域の学校づくりを進めていくことが求められていると思います。一緒に考える時間の確保、地域の願いを吸い上げる機会など、多くの課題を感じます。取り組み方を参考に連携をくふうしていきたいと思いました。(可茂地区 中学校)

小中の教員、児童生徒による協働活動を進めることで、地域の学校運営協議会等が機能的に働き、学校が地域の核として位置づいてくると感じました。(東濃地区 小学校)

小中の強力な連携により、9年間を見据えた教育活動を充実させているところが素晴らしい。小中が同一方向、同一歩調で教育することで、教育効果も高まることを実証されている。また、地域と連携し、コミュニティで子どもを育てる基盤ができており、様々な協力体制を仰ぎ、活動を仕組んでいくことを大切にしていきたいと改めて感じた。(岐阜地区 小学校)

小中の協働活動や地域貢献活動の設定や取りまとめの業務が教頭として大変であると感じますが、PTA活動の活用やコミスクとの関わりをどのように工夫してみえるのか伺いたい。(岐阜地区 中学校)

小中の9年間を見通し、学力向上や地域貢献活動に取り組んでみえるところがとても魅力的であると感じました。一小一中という環境であることはこの取組にとって大きな強みであると思いますが、そうでなくても小学校と中学校が連携し、子どもたちの生きる力、学ぶ力を育てていくための計画的な連携ができるとよいと感じました。(岐阜地区 小学校)

小中で連携することの大切さを改めて感じました。特に生徒指導面での共通指導は有効だと感じています。「中学校では〇〇な取組をしているよ。」がベースにあると指導もしやすい。また、子ども達も互いのよさや課題について交流するなど自発的な動きもつくくりやすくなったと感じた。いずれの活動にしても、教頭にかかる負担が増えると感じています。働き方改革の観点も踏まえ、精選やスリム化も考慮していくことが大切と再確認しました。(東濃地区 小学校)

小中で連携することの大切さを改めて感じました。ただ、それだけ会議が増えることになると思うので、働き方に関わる点でも考えていくことが必要だと思いました。(飛騨地区 小学校)

小中で連携した取組を地区の中心的な取組にしているところが素晴らしい。職員だけが連携するのではなく、児童生徒も交流した取組が、子どもに力をつけている。また、9年間を見通し、小中職員全員で協力して指導にあたることができる体制づくりがなされていると思った。(可茂地区 中学校)

小中でメディアコントロールに取り組むことは、大変有効だと感じた。(西濃地区 小学校)

小中での連携の実践が素晴らしいと感じました。また、ICT活用能力の系統的な指導計画の作成は、本校区でも課題となっているため、是非完成された場合には参考にしたいと感じました。(飛騨地区 小学校)

小中での活動の共有が生徒のための情報共有にもなり、効率化にもつながって良い循環を生み出していることが感じられる発表でした。茶園の活動が地域全体の誇りを生む活動になっていたり、資源回収ボックスも小中で行うことで生徒のために使用できる費用を生み出したりと、参考になる内容が多かったです。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

小中で、メディアコントロールデーや茶園の活動など、継続的に取り組んでいる点が素晴らしいです。生きる力を育むことにつながると感じました。(岐阜地区 中学校)

小中が連携し合いながら様々な取組を行なっていることで、たくさんの教育的効果が生まれていると感じました。来年度から、本校でも交流の枠を増やすなど、工夫をしてみたいと思います。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

小中が連携して学びの基盤をつくるために組織された「小中教員協働活動」が素晴らしい取り組みであると感じました。教員同士で多様な学びができ、視野が広がると感じました。(可茂地区 小学校)

小中が隣接する利点を活かした取り組みがとても参考になりました。小学生と中学生の交流が活発になり、とてもよい取組だと思いました。資源回収ボックスの設置についても働き方改革に繋がり、とても参考になる取組でした。学力向上委員会を教頭会で行ってみるとのことで、小中の連携を活かすことができる取組だと思いました。(東濃地区 小学校)

小中9年間を見通して教育活動するためには、学習規律・学習集団作り・生活指導など、発達段階に応じて具体的に取り組み必要があることを改めて感じました。(東濃地区 中学校)

小中、地域の連携の大切さをあらためて感じました。(可茂地区 中学校)

小中、地域、家庭が連携された素晴らしい実践だと思います。そして、そのパイプ役となる教頭という立場の難しさもあったかと思いますが、そこをクリアして行われたことに心から敬意を表します。本校も似たような学校環境にありますので、参考にさせていただきます。ありがとうございました。(飛騨地区 中学校)

小学校中学校との連携、そして地域との連携がとても充実しており、それが子ども達の生き生きとした姿につながっていることがよく分かりました。教頭会で学びに視点をおいた交流をし、ICTの活用なども情報共有することで、効率の良い教育活動ができていたと感じました。また、互いの研究会に参加することで成果と課題を共有し、小中の連携活動に活かしたことはとても素晴らしい取り組みであると思います。地域協同本部も機能しており、小中の児童生徒、先生方、そして地域の方が一体となった活動がなされており、子ども達の活躍の場が広がっていると聞きました。教頭先生方がパイプ役となって一生懸命取り組んでいることが、子ども達の生きる力につながっていると感じました。いろいろ学ばせていただきました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

小学校と中学校の連携として、同じ時期に挨拶運動やノーメディア週間をやることはよくあるが、保護者だけでなく中学生が小学校の挨拶運動に参加することは、地域の立地のメリットを生かしたよいアイデアだと感じた。小学校を卒業すると早速立場を変えて推進する側になることは、小学生にとってはあこがれの姿となり、中学生にとっては、自分たちも役に立つというよい経験になると思う。(東濃地区 小学校)

小学校と中学校のバランスのとれた御嵩町は、小中の教員が授業の交流をするのもしやすいと思いました。御嵩町教研に参加させてもらったことがあります。中学校の授業に、小学校の先生がご意見されている姿が、とても印象的です。やはり、授業を見る視点や、教科に対する学びの方向が小と中で異なるので、お互いに刺激しあえるよい交流だと思います。

あいさつなども、中学校の先生は小学校の児童を、小学校の先生は中学校の生徒を見て、感じるがあると思います。それを伝えあったり、お願いしあえたら、子どもたちも変わっていくだろうな、と思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。(可茂地区 中学校)

小学校と中学校が協力して生きる力の基本を育む学びを充実させていくというのが大変興味深く思いました。(美濃地区 中学校)

初任でお世話になった地域なので、懐かしさを覚えながら、視聴させてもらいました。地域の特性を生かし、小中の連携が強化されていることがよくわかりました。特に茶園活動が販売まで行われていることにビックリしました。改めて子どもの力は大きいと感じました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

縦のつながりの強い地域での実践は、とてもやりやすいなと感じました。今後も実践を楽しみにしています。(飛騨地区 中学校)

授業研究会や児童会・生徒会活動、コミュニティ・スクールにおける小中連携の実践により、生きる力の基盤づくりが強く推し進められており、小中の連携の大切さが勉強になりました。(東濃地区 小学校)

実践のよさを取り入れたい(東濃地区 小学校)

自校だけではなく、町内の学校が連携した取組をしているところ、地域を巻き込んだ活動が充実しているところが素晴らしいと感じた。(岐阜地区 中学校)

時代背景を考えた教育課程が必要と感じました。(西濃地区 小学校)

児童生徒協働活動がわかりやすかった(岐阜地区 小学校)

私の勤務校でも小中の連携に力を入れている。働き方改革と子どもに力を付けることが両立できるとよいと思います。(飛騨地区 小学校)

子どもたちの生きる力を育むためには、やはり教員・PTA・地域が一体となって取り組むことが必要であり、その要となるのが教頭であることを強く感じました。(西濃地区 中学校)

今後、ますます小中の一貫した学びは、大切になってくると思います。小・中で互いに研究授業を参観する取り組みは若手教師にとって良い学びの場になると思います。参考にさせていただきます。(美濃地区 小学校)

校区内の学校(小・中学校)が協力して研究会を実施するなど、小中教員協働活動を行うことで、様々な先生の実践から学ぶ場を設けられ、9年間の見通しを持った指導や授業の質の向上につなげてみえることがよくわかりました。また、地域やPTAの人材を上手に活用されており、とても参考になりました。本校は小規模校であるため、市内(近隣の中学校区等)の学校に声をかけて合同で研修会を実施させていただいたり、地域や保護者との連携をさらに深めるために地域学校協働本部をもっと活用したりするなど、可児郡の実践を参考にさせていただきたいと思います。(岐阜地区 中学校)

校区や地域の特性を生かして、無理なくできることから取り組んでいるところがよいと思いました。こうした内容や方法で行えば、取組は継続すると考えます。(東濃地区 中学校)

校区の小中学校で授業公開を進めたいと思った。(東濃地区 小学校)

校区の小中学校が連携すること、地域の特色を生かすことの大切さを改めて感じました。地域愛、地域への誇りは自己肯定感にもつながるものだと思います。(美濃地区 小学校)

校区で連携して地域の方との会議を開くなど、地域との連携がとてうまく取れているのを感じ、参考になりました(美濃地区 小学校)

公民館長の会議など、地域とうまく関わっていくための教頭としての役割について学ぶところがたくさんありました。また、地域との協働活動において、今後の課題が本校と同じ部分があり、どの地区でも学外講師の確保等に苦慮していることがわかりました。(可茂地区 小学校)

公民館活動と地域学校協働本部が町として組織化、機能していて、小中の縦のつながりだけでなく、学校間の横のつながりもあり、町ぐるみという言葉がぴったりだと感じました。飛騨市は各学校に地域協働本部があり、それぞれに活動していて交流がありません。御嶽町ならではの取り組みはできなくても、せめて中学校区ごとに組織化できるとよいと感じました。(飛騨地区 小学校)

公民館と協力し、地域性を活かしながら子どもが育っているところがよいと思った。(西濃地区 小学校)

御嵩町地域学校協働本部を中心に、町が一体となって子どもたちを育てていることがよく伝わってきました。特に茶園活動は、ふるさと教育として、とても素敵な活動だと感じました。また、全校研究会では小中で学び合ったり、挨拶運動を小中合同で行ったりと、連携がすばらしいと思いました。子ども、家庭、地域をつなぐパイプとしての教頭の役割を、改めて学ぶことができました。(岐阜地区 小学校)

御嵩町の地域学校協働本部がしっかりと組織化され、小中の連携や交流が効果的に行われていると感じました。(可茂地区 小学校)

御嵩町のコミスクの連携のあり方が、簡潔で教員間の連携も十分図られている点が参考になった。(岐阜地区 小学校)

御嵩町の3中学校区で、地域学校協働本部が設置されており、公民館長さんと情報交流しながら連携を図る取組はコミュニティ・スクールの観点からも意味ある取組だと感じました。(岐阜地区 中学校)

現任校も、一小一中(一保育園)であり、積極的に小中連携について取り組んできている。学校運営協議会やPTA 資源回収など、小中合同で行っている。小中連携会議は、年2回実施し、お互いの授業を参観しあい、その後、小中合同指導部会で、指導部ごとの小中連携を行っている。その点、可児郡小中教頭会のご実践は、参考になることが数多くあり、今後、まねて実践してみたいと感じました。(美濃地区 小学校)

研究内容(1)の実践では、教頭会が校種連携の中心となり、ICTを活用し授業研究の連携を深めてみえます。加茂郡でも、ICTを効果的に活用することにより、教員同士の学びを深めることにつながることを念頭に置き、教頭会で生かしていくことができると感じました。(可茂地区 小学校)

郡内で9年間を通した指導が行われており、小中連携の取り組みが充実されているのが素晴らしいと感じました。(岐阜地区 小学校)

勤めたことがある学校だったので、懐かしく思い試聴しました。体験活動が地域の歴史に根付いていて素晴らしいと思いました。(西濃地区 小学校)

教頭会での情報共有、地域との連携の在り方は重要な点だと再確認でき、参考になりました。(飛騨地区 中学校)

教頭は、子供にも大人にも向き合うことが大切だと、改めて感じた。(可茂地区 中学校)

教頭は、学校と地域を有機的に繋ぐ教育活動を推進するための要となる立場なのだと、改めて考えました。赴任した学校の地域を知り、地域で生きる子供たち、保護者と十分に向き合っ業務を遂行できるようにしたいと思いました。そのために中学校区の小学校、保育園等との連携は不可欠であり、その形を様々に生み出していかねばならないと思いました。(東濃地区 中学校)

教頭の役目の具体が知れてよかった。(美濃地区 中学校)

教頭の役割とできることの具体がわかりました。(西濃地区 小学校)

教頭の役割がとても重要だと感じています。(岐阜地区 小学校)

教頭だけでなく、町内小中児童生徒の関わり、地域との連携を図りながら子どもたちを育てていこうという取り組みが素晴らしいと感じた。一方、今後の課題にも書かれていたが、地域との関わりをもとうとすればするほど、どこまで手を広げたり、こちらから要求をし、相手からの要求を認めたりすればよいのかわからなくなり、教頭が苦しくなってしまうことを、私自身も強く実感している。ここ数年、コミュニティ・スクールの取り組みが動き出しているが、そうした観点も含め、興味をもって動画を見せていただき、学ばせていただいた。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

教頭が中心となって、小中や地域の連携が盛んにされていることが分かった。小学校のあいさつキャンペーンに中学生が参加する等、どちらにとっても意義のある活動がされていてよいと思った。(可茂地区 小学校)

教頭が中心となって、「学力向上」について推進委員会を開いていることが新鮮な実践であった。教頭の立場で、自校の学力の傾向と対策を見極め、他校との交流によって授業の質を高めていくことは大事なことだと感じた。(岐阜地区 小学校)

教頭が子ども、家庭、地域と学校をつなぐパイプ役として大きく役割を果たしていると感じました。自分の今後の動き方にも取り入れていきたい考え方でした。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

教頭が校区の小中、地域との連携の要となることがよく分かった。(東濃地区 中学校)

教頭が学力向上の委員会の一員となって進めていくことの意義がわかりました。(岐阜地区 小学校)

教頭が、地域と学校、学校と学校、職員同士をつなぐ役目を持ち、率先して活動していることが伝わりました。私自身にも取り入れていきます。(西濃地区 中学校)

教職員及び保護者に負担がない資源回収活動の在り方が参考になりました。(可茂地区 中学校)

教師や児童生徒の協働活動を仕組むことでより密接な連携が図られていることが分かり、参考となった。(可茂地区 中学校)

教員として、子どもたちが生きる未来を見据えた教育課程を考えていけないといけないと、常日頃から思っている。上之郷小学校の実践は、小学校と中学校が連携したたくましく生きる力の基盤づくりをテーマにした発表であった。ふるさとの強みを生かした取組、メディアコントロールデーのような児童生徒、保護者が当事者となった取組など、とても参考になった。(可茂地区 小学校)

教育活動を行うにあたり学校だけでなく地域を巻き込んで取り組んでいることそのために教頭会が一丸となっているところが素晴らしいと感じた(岐阜地区 中学校)

教育課程編成において小中連携や地域との連携・協働を考慮することが大事だと改めて感じました。(西濃地区 小学校)

教育課程編成において、地域との連携による教育活動が組み込まれ、小中の9年間での生き方指導につながっていると感じました。また、可児郡の小中連携による教育課程も参考になりました。(岐阜地区 中学校)

協働活動をキーワードとして、今ある取組をいかに機能させていくのかという視点が大変重要だと感じました。(美濃地区 中学校)

既存の組織を活用しながら、児童生徒に力を付ける取り組みがされていた点が参考にしていきたいです。特に、小中教員協働活動が計画的に行われており、1小1中としてより必要不可欠な連携がされていることが義務教育9か年で願う児童生徒の姿に近づけていく事になると思います。また、教頭が核となり主体的にリードする点が素晴らしいです。見習っていきたいです。(西濃地区 小学校)

既存の組織を活かしながら校内体制を整備することを教頭が推進することはとても良いと考えます。(西濃地区 小学校)

学力向上推進会議を中学校区ごとで実施することは、授業づくりの方向が明確になるだけでなく、教科の系統性や専門的な指導法を学ぶ機会にもつながると強く感じた。(西濃地区 小学校)

学力向上推進委員会を通して小中連携が密に行われていることがすばらしいと感じました。(西濃地区 小学校)

学校区が、連携して取り組む効果は大きいと感じました。小中学の連携も子供や教員を育てるのに大切です。(岐阜地区 小学校)

学校間や地域を「つなぐ」ことの大切さと、教頭として果たす役割の大きさを痛感した(美濃地区 小学校)

学校間での交流を中心にその橋渡しを教頭がしていることが参考になった。(東濃地区 小学校)

学校運営協議会や地域学校協働本部といった組織を効果的に働かせながら、「協働」で教育活動を推進していくことが大切だと感じました。我が学校区では、学力向上を教頭間あるいは教務間で進めていたのですが、御嵩町の取組を参考にして、小中連携の「学力向上推進委員会」という組織を設けて推進を図っていきたいと思いました。(美濃地区 小学校)

学校と地域が協力することで、子どもたちに確かな力が育まれていると感じました。(岐阜地区 小学校)

学校ごとではなく、御嵩町の地域学校協働本部があり、地域全体で活動しているのは珍しいのではないかと感じました。その中での教頭の役割は重責ではなかろうかと想像します。しかしながら児童生徒協働活動を推進したり、茶園活動などの地域貢献活動を充実させたり様々な取組ができることは素晴らしいと思いました。少子化の厳しい状況下で将来の問題解決に向け、取り組む必要性を感じました。同時に働き方改革もあり、内容をスリム化するなどの課題は難しいと思います。どのようにスリム化するかも研究内容になるのではないかと考えました。(飛騨地区 小学校)

各校学校の実態に応じて活動を工夫されていること。(東濃地区 小学校)

課題にあるICTの系統的な指導計画は必要を感じるが、まとめるだけに終わりそうです。モラル教育の具体的な指導資料は交流したいと思いました。(東濃地区 小学校)

家庭や地域と連携した実践がよくできている。PTAや地域からの取組に対する理解や協力を得るための教頭としての働きかけを参考にしたい。(西濃地区 小学校)

可児郡内小中学校の教頭会が基盤となって、学力向上推進委員会、地域学校共同本部連絡会、教員・児童生徒協働活動、地域貢献活動などの組織と連携して働きかけができている。新たな組織を設けるのではなく、既存の組織を活用しながら教頭会が役割を果たしている点が参考になりました。(可茂地区 中学校)

可児郡の教頭会が、可児郡地区の子どもたちを同じ目線で育てようと情報や方法を共有することで、地域のどの子どもたちにも同じように生きる力を育もうとしてみえることが伝わった。私の市でも情報交流していて、同じように活動していることがわかり、がんばろうと思った。発表、ありがとうございました。(飛騨地区 小学校)

一人一人の個に寄り添い、ちょうどいい課題を学校と保護者が相談共有しながら、個の成長を保障していきたいと考えた。(岐阜地区 小学校)

一小一中の良さを活かし、小中9ヶ年を見通して、連携して取り組んでみえる。(可茂地区 中学校)

メディアコントロールデーの取組は、メディアとの正しい向き合い方を自分自身で考えるよい機会になると思っています。本校の実践にも参考にさせていただきました。(岐阜地区 中学校)

ハッピーハッピーな関係と言う表現が印象的でした。(岐阜地区 小学校)

どんな小さなことも小中の連携はとても大切だと感じた。小中の連携が地域や保護者の連携の強化につながるが、一方で業務改善の視点も考えながら生徒にとってだけでなく、教員、地域や保護者にとってもよい取組を生み出していくことが大切であると思った。(美濃地区 中学校)

さまざまな工夫によって子どもの学びが深まっていました。(可茂地区 中学校)

お茶の栽培から販売まで地域とつなげる教頭の役割が大きいと感じた。(東濃地区 小学校)

ICT活用能力や情報モラルに関わる力を身に付けることは、本校においても課題だと考えています。発表を拝見し、小中の連携も含め、継続した取組に力を入れていきたいと思えます。(西濃地区 小学校)

ICT活用での学び合い、地域ならではの協働活動など、ふるさと愛を育む取り組みなどくふうとあつい熱意を感じました。地域連携が活発になると教頭先生の業務が忙しくなっていくと思います。地域のキーマンの力を借りながら、貢献感と達成感を味わい、郷土を支える若者を私も育てていこうと思いました。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

ICTを活用した指導計画の作成、情報モラル教育の推進を図るため、市として早急な基準となるものを整備すること。ハード面が先で、ソフト面での遅れがあり、生徒指導上での問題点への対応でうまく活用できていないことがある。(岐阜地区 小学校)

ICTへの教頭への必要な研修があることがわかった(岐阜地区 中学校)

ICTの活用と並行して、情報モラル教育に対する学校・保護者・地域の協働活動の枠組みが必要であると感じます。(飛騨地区 中学校)

ICTの学びと情報モラルの9年間を見通したカリキュラム等が拝見したいです。重複や不足があるかどうかはまだ校区では把握できていません。子どもの学びを適切におこなっていきたいと思いました。(東濃地区 小学校)

ICTでつなぐことは有効的だと感じました。お互いの移動もなくスムーズに行うことができる。生活リズムを整える取り組みも今の子ども達にとってとても重要な課題改善につながる取り組みだと思います。(可茂地区 中学校)

3つの中学校区で、連携して、地域とのつながりをもっていることがとても良いと思いました。地域も学校も共にハッピーになれる、フィフティフィフティの関係があれば、子ども達のために何をしたら良いか、互いに主体的に活動できるため理想だと思いました。(飛騨地区 小学校)

1小1中の関係を活かし、あらゆる取組において、小中の連携を大切にしてみえ、その成果も大変分かりやすかったです。共有できるその地域の特徴を核にしていくことがキーワードのなると感じました。(岐阜地区 小学校)

1小1中のよさを生かした学び合いや協力した活動が素晴らしいと思います。その繋ぎ役として教頭会が大変機能していると感じました。(岐阜地区 中学校)

1小1中という関係を活かし、地域と協働して活動を仕組んでいるところが、本校と似ていると思いました。地域力を借りながら一緒に子ども達を育てていきたいと思いました。(東濃地区 小学校)

1小1中だからこそできる協働活動があることを改めて考えることができました。生活習慣の見直しは、合同で行う方が効果的だと感じました。(岐阜地区 小学校)

1小1中だからこそ、より地域としてともに活動できることもあると思います。飛騨地区でも取り入れていきたいです。(飛騨地区 小学校)

「地域貢献活動の充実」の『茶園活動推進』の取組がよいと思いました。地域の資源や伝統を生かした地域との連携・交流はとても貴重であるが、「負担感」を伴う場合が多く、働き方改革の中で削られていく可能性が高い。しかし、地域で活躍できる「地域人」を地域で育てるためにも、教頭が中心となってコーディネートしていくとよいと感じました。(岐阜地区 中学校)

「地域学校協同本部連絡会」という地域との連携の形に、可能性を感じました。業務のスリム化や地域人材の高齢化等の課題があるにせよ、茶園活動など地域の特色を生かした教育課程は非常に大きな魅力と値打ちがあるものだと思います。(岐阜地区 小学校)

「地域ぐるみの宝(茶園活動)」が伝統的に引き継がれ、そこに小中学生の参加によって、地域貢献できたり故郷を愛する気持ちを醸成させたりすることが素晴らしく、羨ましい。

また、「児童会」と「生徒会」の連携・共同活動、「小中教員が交流できる授業研究会」と、子どもも教職員も9年間の繋がりを大切にした教育活動が展開されているところを見習いたい。(東濃地区 中学校)

魅力ある学校づくりを地域とともに持続可能な形で推進するためには、地域との連携は不可欠であると考えます。そのためには、学校運営協議会と地域学校協働本部をどう生かしていくかを明確にしていける必要があります。

今回の提言の中で興味深かったのは、地域学校協働本部が中学校区ごとにあるのではなく、御嵩町に存在し、3つの中学校区を統括していることでした。各校区を超えての調整は難しいかもしれませんが、他校との連携を図る中で地域を高めるにはいい組織であると感じました。

「学校と地域が相互にハッピー＆ハッピー」になることは大賛成です。地域コーディネーターとPTAとも任せるところを明確にしあって、荷重負担にならない形での取り組み方を発信していただけたら参考にさせていただきたいです。

ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

地域性を生かし、小中学校同一期間に「メディアコントロールデー」を設け、学校と家庭が連携して児童生徒の基本的な生活週間づくりを進めてみえるところがいいなと思いました。

PTA家庭教育学級が取組の主体になってできるように、教頭が小中学校のパイプ役となり、地域ぐるみで児童生徒を育てていくことの大切さを学ばせていただきました。

また、地域の特産である茶を小中学校の教育活動の場として継続して行われていることが、ふるさと教育として継承されていき、いつまでも児童生徒の心の中で生き続けると思いました。ご提案、ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

生きる力の基盤づくりのために小中の連携は大切で、このつながりを教頭が行うことだと改めて思いました。共和中学校は御嵩町と可児市の組合立ですが、共和中学校の教頭先生が兼山小学校にも積極的に声をかけていただき、今年度は全校研究会への参加や情報モラル教育等校内研修についても共有させていただくことができました。これらの連携は同じ中学校に入学していく子どもたちにとってとても良いことだと思っています。教頭の役割はこのような連携していく上でつなぐ大切な役割だと強く思いました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

小中が連携して、学力向上推進委員会や教員が小中一緒に研究授業を見て研究会を行うなど子どもたちの9年間の成長を知り教育できる点がよいと感じた。また、児童生徒も協働活動を推進しあいさつ運動の実施、基本的な生活習慣作りをカードを使って取り組み、それを家庭教育学級が主体となって推進できるようにしたところを見習いたいと思った。(西濃地区 小学校)

小学校と中学校の連携が大切であること、また、地域とのつながりにおいては、互いにハッピーになれるよう取り組むとよいこと、さらには、子どもたちが自分たちの手で地域貢献できることを続けていくことの大切さを学びました。(岐阜地区 小学校)

御嵩町に地域学校協働本部があるのがまず素敵でした。小中や地域が情報をシェアしながら同一歩調で動けるシステムは参考にしたいです。(西濃地区 小学校)

現在勤務している本校も昨年度から1小1中となり、更なる小中連携の必要性を感じていました。可児郡小中学校の教頭先生方が提案してくださった通り、連携しやすい小中の教頭が中心となって研修を計画し、職員に広げていくという形が、無理のない活動につながると感じました。(新しい組織を設けることなく既存の部会組織が使えるのがとても良いと感じています。)リモート会議ができる環境が整ったことで、一昔前のように、同じ場所に一同を会して研修を行うという必要がなくなってきました。時間も大幅に短縮できます。ICTを使わない手はないなと感じました。小中の教員同士の連携が密になれば、自ずと子供たちの連携は当然密になります。そこにPTAや地域の方を巻き込めば、無理なく、大きな渦を作ることができそうです。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

まず実質的に機能している地域学校協働本部が既に設置されていることが素晴らしいと思いました。北方町では、部活動の地域移行を検討してくださっている状況ですが、その他の部分で、何を軸に協働していくかを考える段階だと思っています。そのときには、ハッピーハッピーを合言葉に地域の方にも喜んでもらえることを考えながら進めていきたいと感じました。北方町では、来年度より義務教育学校がスタートします。残された時間で可児郡のお子さんのように、1～9年生が仲良く学びあえる環境を作っていかなければと感じました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

本校も来年度から学校運営協議会が発足するが、これからの学校にとって地域との協働は不可欠だと思います。その調整役として、教頭の役割は重要だと思いました。(東濃地区中学校)